

大分教育事務所訪問 39

# 大分市立森岡小学校から学ぶ

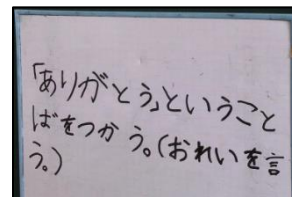
## 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心をつなぎ ともに『生きる力』を発揮できる子どもの育成」を達成するために、行動目標を「あいさつ」「へんじ」「あとしまつ」と具体的に明確なものとしています。そのため、子ども達だけでなく、保護者や地域の協力も得られやすいでしょう。さらに、

「あいさつ」→「つよい子」：強くたくましい体に鍛える子ども→元気に笑顔であいさつ  
 「へんじ」→「かしこい子」：考えを出し合い、すすんで学ぶ子ども→返事、対話をする  
 「後始末」→「やさしい子」：思いやりのある優しい子ども→思いやりを感じる後始末

と、行動目標と分掌組織とをリンクをさせています。また、それらを横断的に取り組むことで、常に伸びようとする子ども→「問い続け、学び続ける子」としています。

今後は、学校の教育目標達成のために、(学校をあげて) 育成を目指す資質・能力「自己肯定感の向上」「多様な見方・考え方を認識・受容する力」「協働する力」と3つあるので、主要主任や教職員、さらには保護者、地域の方と協議することで、優先順位を決めたり絞り込むこともご検討されてみてはいかがでしょうか。



### かしこい子

タブレットの良さ、ノートの良さ、学び合う良さ。それぞれに良さがある。選ぶのは子ども。



### やさしい子

発表者へ身体ごと向けて聴くのは、自分が学ぶためだけでなく、相手への優しさから。

## 授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂きありがとうございました。どの学級も授業レベルが高く、授業改善がすすんでいると思いました。とりわけ、6年生道徳では、決断を迫る話し合いが効果的に行われていました。校内における道徳の研修が充実しているのでしょうか。



### 笑顔で協議

話し合いが白熱すると、思考が尖ってくる。だから、笑顔を意識することで共に冷静になる。



### 問い続け、学び続ける

課題を理解し、予想をしているから実験も楽しい。そして、新たな課題を発見し、深い学びになる。



### つよい子

友達の意見を聴く。資料をもとに考える。そして、立場を決めて主張をする。だから、流されない。

今後は、「授業がわかりやすい」と感じる児童の割合を増やすためにも、「振り返り」では、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思われました。

